

ii 地区単位に設置する施設

ア 施設概要

市民の学習活動や趣味・生きがい活動、コミュニティの活性化のための活動拠点として、地区ごとに「山田地区センター」など15施設を設置しています。

施設No.	施設名称	所在地	地区	所管課
集7	山田地区センター	山田字中屋敷135-1	山田	協働事業 推進課
集8	三関地区センター	下関字下舞台5-1	三関	
集9	弁天地区センター（農村交流センター）	森字熊ノ堂上羽場13-1	弁天	
集10	農家高齢者創作館	森字熊ノ堂上羽場10	弁天	
集11	ふるさとふれあいセンター	岩崎字寝連沢9-4	岩崎	生涯学習課
集12	岩崎コミュニティセンター	岩崎字寝連沢1-10	岩崎	協働事業 推進課
集13	幡野地区センター（湯沢農村環境改善センター）	金谷字樋口123	幡野	
集14	須川地区センター	相川字須川150-3	須川	
集15	高松地区センター（郷土学習資料展示施設）	高松字上地6-2	高松	
集16	稲庭地区センター（稲川勤労青少年ホーム）	稲庭町字稲庭238-1	稲庭	
集17	院内地区センター	下院内字田用橋61	院内	
集18	秋ノ宮地区センター	秋ノ宮字山岸146	秋ノ宮	
集19	横堀交流センター	横堀字小田中5-2	横堀	
集20	小野地区センター	小野字油屋敷15	小野	生涯学習課
集21	湯沢コミュニティセンター	千石町二丁目4-8	湯沢	

イ 現状と課題

地区センターの管理運営は市直営又は指定管理者制度で実施しています。施設の利用料及び暖房費として利用者負担を求めています。利用団体として登録された場合、減額・免除規定が適用されます。

施設No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積(m ²)	運営形態	職員数	支出(千円)	収入(千円)	利用人数
集7	山田地区センター	S52	24	41	1,003	直営管理	非3	10,579	79	12,500
集8	三関地区センター	H11	50	19	1,254		非2	11,593	495	28,500
集9	弁天地区センター （農村交流センター）	S56	24	37	914		非2	8,693	88	8,000
集10	農家高齢者創作館	S53	24	40	244			330	29	1,600
集11	ふるさとふれあいセンター	H20	22	11	685	指定管理	—	9,962 9,693	— 9,721	15,300
集12	岩崎コミュニティセンター	H3	34	27	1,030		506 755	— 790	10,600	
集13	幡野地区センター （湯沢農村環境改善センター）	S61	50	32	1,177	直営管理	非2	9,440	153	11,600
集14	須川地区センター	S49	24	45	861		非2	8,279	29	7,800
集15	高松地区センター （郷土学習資料展示施設）	H13	50	18	3,028	直営管理	非2	10,977	21	10,600
集16	稲庭地区センター （稲川勤労青少年ホーム）	S58	50	36	771		非2	5,899	482	6,200
集17	院内地区センター	M39	24	113	1,031		非1	3,088	28	2,300
集18	秋ノ宮地区センター	H3	24	27	429		非1	3,124	9	1,500
集19	横堀交流センター	S55	47	39	2,620	指定管理	—	6,887 7,621	221 8,118	15,400
集20	小野地区センター	S60	38	33	913	直営管理	非1	4,255	56	5,200
集21	湯沢コミュニティセンター	S58	34	35	486		非1	5,252	229	21,200

※支出・収入欄の2段書きのうち、上段は市、下段は指定管理者の収支額

集7 山田地区センター

木造2階建て、付属施設を含む延床面積1,003㎡。昭和52年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、建築から41年経過し老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、8時30分から22時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含めた管理運営費は10,579千円となっています。施設の利用料及び暖房費として79千円の収入があります。

施設は、講堂、研修室、集会室、大和室、小和室、調理実習室等で構成し、自然観察会やわくわく健康広場、グラウンドゴルフ大会、陶芸教室などの事業を実施しているほか、自主活動グループ等への貸出で使用され、年間約12,500人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
講堂	41	集会室	3	小和室	4
研修室	20	大和室	11	調理実習室	4

集8 三関地区センター

鉄筋コンクリート造平屋建て、付属施設を含む延床面積1,254㎡。平成11年に新耐震基準で建設し、建築から19年経過し、平成28年度には屋上防水改修工事を行っています。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、8時30分から22時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含めた管理運営費は11,593千円となっています。施設の利用料及び冷房・暖房費として495千円の収入があります。

施設は、研修室兼視聴覚室、実習室、教養文化室、音楽室、多目的ホール等で構成し、陶芸教室、縄ない教室などを実施しているほか、自主活動グループ等への貸出で使用され、年間約28,500人が利用しています。また、キッズステーションとしても使用されています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
研修室兼視聴覚室	20	教養文化室	32	多目的ホール	60
実習室	6	音楽室	13		

集9 弁天地区センター（農村交流センター）

集10 農家高齢者創作館

農村交流センターにも位置付けている「弁天地区センター」は、木造2階建て、付属施設を含む延床面積914㎡。昭和56年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、建築から37年経過し老朽化が進んでいます。また、併設している「農家高齢者創作館」は、木造平屋建て、付属施設を含む延床面積244㎡。昭和53年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、建築から40年経過し老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、8時30分から22時までで、農家高齢者創作館を合わせて管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は9,023千円となっています。施設の利用料及び暖房費として117千円の収入があります。

「弁天地区センター」は、トレーニング室、研修室、青年研修室、調理実習室等、「農家高齢者創作館」は創作館談話室、陶芸室で構成し、弁天地域づくり協議会との共催で弁天文化祭を実

施しているほか、自主活動グループ等への貸出で使用され、年間約9,600人が利用しています。また、キッズステーションとしても使用されています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

施設名	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
弁天地区センター	トレーニング室	56	青年研修室	2
	研修室	9	調理実習室	2
農家高齢者創作館	創作館談話室	29	陶芸室	19

集11 ふるさとふれあいセンター

集12 岩崎コミュニティセンター

「ふるさとふれあいセンター」は、木造平屋建て、延床面積685㎡。平成20年に新耐震基準で建設し、建築から11年が経過しています。また、隣接する「岩崎コミュニティセンター」は、平成22年度に閉校した岩崎小学校の体育館を平成24年から再利用しているもので、鉄骨造平屋建て、延床面積1,030㎡。平成3年に新耐震基準で建設し、建築から27年経過しています。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、8時30分から22時までで、管理運営は指定管理で行い、指定管理者が支出する管理運営費は両施設合わせて10,448千円で、指定管理料9,689千円のほか施設利用料700千円など合計10,511千円の収入があります。市は指定管理料のほか修繕料など10,468千円を支出しています。

「ふるさとふれあいセンター」は、多目的ホール、調理実習室、第1～4会議室で構成し、消防操作講習会、指定管理者による岩崎盆踊り大会などの事業を実施しているほか、自主活動グループ等への貸出を行い、年間約15,300人が利用しています。また、「岩崎コミュニティセンター」は、体育館とグラウンドなどがあり、指定管理者による世代間交流などの自主事業のほか、小中高部活動やスポ少、一般の団体がスポーツ活動で使用し、年間約10,600人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

施設名	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
ふるさとふれあいセンター	多目的ホール	55	第3会議室	45
	第1会議室	1	第4会議室	47
	第2会議室	44	調理実習室	8
岩崎コミュニティセンター	体育館	44		

集13 幡野地区センター（湯沢農村環境改善センター）

湯沢農村環境改善センターにも位置付けている「幡野地区センター」は、鉄筋コンクリート造2階建て、附属施設を含む延床面積1,177㎡。昭和61年に新耐震基準で建設し、平成29年度に屋上防水改修工事を行っていますが、建築から32年経過し老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、8時30分から22時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は9,440千円となっています。施設の利用料及び暖房費として153千円の収入があります。

施設は、多目的ホール、生活改善実習室、研修室、研修和室で構成し、伝統的家屋見学会や健康体操教室などの事業を実施しているほか、自主活動グループ等への貸出で使用され、年間約11,600人の利用があります。また、キッズステーションとしても使用されています。利用状況は

次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
多目的ホール	64	研修室	11
生活改善実習室	3	研修室和室	25

集14 須川地区センター

木造2階建て、延床面積861㎡。昭和49年に旧耐震基準で建設した建物で、耐震基準を満たしておらず、建築から45年経過し老朽化が進んでいます。平成29年度にはトイレ改修工事を実施しています。平成31年4月からは併設していた須川コミュニティセンターを地区センターに統合しています。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、8時30分から22時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は8,279千円となっています。施設の利用料及び暖房費として29千円の収入があります。

施設は、講堂、集会室、和室、大広間、調理室で構成し、絵どうろうづくり教室や犬っこづくり教室などの事業を実施しているほか、自主活動グループ等への貸出で使用され、年間約7,800人が利用しています。また、キッズステーションとしても使用されています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
講堂	19	集会室	3	2階和室	3
大広間	7	1階和室	4	調理室	1

集15 高松地区センター（郷土学習資料展示施設）

平成22年度に閉校した高松小学校を有効活用し平成23年に開設したもので、鉄筋コンクリート造2階建て、附属施設を含む延床面積3,028㎡。平成13年に新耐震基準で建設し、建築から18年経過しています。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、8時30分から22時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は10,977千円となっています。施設の利用料及び暖房費として21千円の収入があります。

施設は、講堂（体育館）、集会室兼音楽室、第1研修室、第2研修室、和室、調理実習室で構成し、自然観察会、書初め大会などの事業を実施しているほか、自主活動グループへの貸出で使用され、年間約10,600人が利用しています。また、2階部分には、郷土学習資料展示施設があり、ジオパーク関連資料や酒造関連資料、埋蔵文化財等の展示を行っています。また、キッズステーションとしても使用されています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

区 分	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
高松地区センター	講堂（体育館）	28	第2研修室	4
	集会室兼音楽室	5	和室	8
	第1研修室	3	調理実習室	3
郷土学習資料展示室	展示室	—		

集16 稲庭地区センター（稲川勤労青少年ホーム）

稲川勤労青少年ホームにも位置付けている「稲庭地区センター」は、鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積771㎡。昭和58年に新耐震基準で建設し、平成29年度には体育館棟屋根塗装工事を行っています。建築から36年経過し老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始と火曜日を除く毎日、9時から21時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は5,899千円となっています。施設の利用料及び暖房費として482千円の収入があります。

施設は、音楽室、集会室、和室、調理室、軽運動場で構成し、市主催の会議のほかは自主活動グループ等への貸出で使用され、年間約6,200人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
音楽室	11	和室	14	軽運動場	5
集会室	15	調理室	5		

集17 院内地区センター

木造2階建て、延床面積1,031㎡。明治39年に院内尋常高等小学校として建設し、建築から113年経過しており、歴史的建造物として市指定有形文化財に指定しています。

開館日・開館時間は、年末年始と土・日曜日、祝日を除く毎日、8時30分から18時30分までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は3,088千円となっています。施設の利用料及び暖房費として28千円の収入があります。

施設は、交流室、遊戯室、トレーニング室、児童室で構成し、院内児童館として使用しているほか、イベント等に使用され、年間約2,300人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
交流室	17	トレーニング室	9
遊戯室	10	児童室	27

集18 秋ノ宮地区センター

木造平屋建て、付属施設を含む延床面積429㎡。平成3年に新耐震基準で建設し、建築から27年経過しています。

開館日・開館時間は、年末年始と土・日曜日、祝日を除く毎日、8時30分から18時30分までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は3,124千円となっています。施設の利用料及び暖房費として9千円の収入があります。

施設は、交流室、児童館室、遊戯室で構成し、秋ノ宮児童館として使用しているほか、イベント等に使用され、年間約1,500人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
交流室	11	遊戯室	2	児童館室	37

集19 横堀交流センター

平成26年度に閉校した旧横堀小学校を有効活用し、平成27年度に開設したもので、鉄筋コンク

リート造3階建て、付属施設を含む延床面積2,620㎡。昭和55年に旧耐震基準で建設しましたが耐震基準は満たしています。平成27年度には用途変更改修工事、平成28年度にはエアコン設備工事を実施しているものの、建築から39年が経過し老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、8時30分から22時までで、管理運営は指定管理で行い、指定管理者が支出する管理運営費は7,621千円で、指定管理料6,861千円のほか、施設の利用料金286千円など合計8,118千円の収入があります。市は指定管理料のほか建物保険料など6,887千円を支出し、行政財産目的外使用料として221千円の収入があります。

施設は、和室、多目的フロア、体育館、サークル活動室、大会議室、小会議室、音楽室で構成し、市主催の各種講座や敬老会のほか、スポ少活動、サークル・同好会活動など自主活動グループ等への貸出で使用され、年間約15,400人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
和室	24	サークル活動室	6	小会議室	18
多目的フロア	29	大会議室	9	音楽室	20
体育館	38				

集20 小野地区センター

平成26年度に閉校した旧小野小学校の一部を有効活用し、平成27年度に開設したもので、鉄骨造平屋建て、付属施設を含む延床面積913㎡。昭和60年に新耐震基準で建設し、建築から33年経過し老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始と土・日曜日、祝日を除く毎日、8時30分から18時30分までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は4,255千円となっています。施設の利用料及び暖房費として56千円の収入があります。

施設は、体育館、交流室、トレーニング室で構成し、小野児童館として使用しているほか、イベント等に使用され、年間約5,200人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
体育館	23	交流室	10	トレーニング室	27

集21 湯沢コミュニティセンター

鉄骨造2階建て、延床面積486㎡。昭和58年に新耐震基準で建設し、建築から35年経過し老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、8時30分から22時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は5,252千円となっています。施設の利用料及び暖房費として229千円の収入があります。

施設は、第一研修室、第二研修室、調理室、体育室等で構成し、貸館としてのみ使用され、年間約21,200人が利用しています。なお、湯沢南児童クラブを併設し、平日の午後は同児童クラブが使用しています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
第一研修室	22	調理室	1

【現状と課題のまとめ】

地区センターは、コミュニティ活性化の活動拠点として、また、市民の学習活動や趣味・生きがい活動の場として機能していますが、これからの地域づくり・地域経営にあたっては、市民力・地域力を生かして、行政と市民・地域が協働で、様々な地域課題を解決していく取組が重要となるなかで、その活動の場としての機能を備えることも必要となっています。

生涯学習センター・公民館は、課題解決のために必要な様々な学習の機会や情報提供を行うことが求められ、地区センターは、課題解決のための実践活動の場として今後も重要な役割を果たすことから、地区センターの施設は行政が保有し、その管理運営は地域団体が指定管理者となって自主的に運営し、使いやすい施設として運用していくことが必要です。

ウ 今後の方針とスケジュール

公共施設等総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。（分析・評価結果は資料編を参照）。

【基本的な考え方】

○ 各地区センターは、市民の学習活動や趣味・生きがい活動の場として、また、地域が地域課題の解決に自主的に取り組むための実践活動の拠点として継続します。

なお、地域課題の解決に自主的に取り組むための支援の仕組みについて別途検討します。

○ キッズステーション機能は、放課後児童クラブの機能と類似することから、子育て支援施設全体の再配置の中で、設置のあり方について検討します。

○ 各地区センターの公民館的機能は今後も継続し、各生涯学習センターとの役割を明確にして、講座等の企画・立案や実施方法について検討します。

○ 管理運営については、地域経営における行政と地域との協働の観点から、施設は市が所有し、指定管理者制度の導入を進めます。

また、施設使用料について、受益者負担の適正化の観点から、減額・免除規定の見直しを含め検討します。

【個別施設ごとの対応方針】**集7 山田地区センター**

○ 昭和52年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、老朽化が進んでいることから、耐震補強を含む改修を行うか、適正な規模で建替等を検討します。

集8 三関地区センター

○ 平成11年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

集9 弁天地区センター（農村交流センター）**集10 農家高齢者創作館**

○ 弁天地区センターは、昭和56年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、老朽化が進んでいることから、耐震補強を含む改修を行うか、適正な規模で建替等を検討します。

併設する農家高齢者創作館は、昭和53年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、老朽化が進んでいることから廃止します。陶芸機能については別途対応を図り、談話室機能については弁天地区センターに機能移転します。

- 農村交流センター機能は、利用実態に照らし、転用手続きについて関係機関と調整します。

集11 ふるさとふれあいセンター

集12 岩崎コミュニティセンター

- ふるさとふれあいセンターは平成20年に、隣接する岩崎コミュニティセンターは平成3年に、それぞれ新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 岩崎コミュニティセンターは、ふるさとふれあいセンターの機能の一部として位置付けを明確にして継続し、ふるさとふれあいセンターと一体的に指定管理者制度で継続運用します。

集13 幡野地区センター（湯沢農村環境改善センター）

- 昭和61年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 農村環境改善センター機能は、利用実態に照らし、転用手続きについて関係機関と調整します。

集14 須川地区センター

- 昭和49年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、老朽化が進んでいることから、耐震補強を含む改修を行うか、適正な規模で建替等を検討します。

集15 高松地区センター（郷土学習資料展示施設）

- 高松地区センター内の郷土学習資料展示機能については、ジオパーク関連資料や酒造関連資料、埋蔵文化財等が展示される市内唯一の機能であることから今後も継続します。
- 平成13年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 郷土学習資料展示施設の収蔵・展示を中心とした現在の活用方法について、国が示す体験交流型の機能を高める工夫を行い、利用者の増加を図る管理運営方法を検討します。

集16 稲庭地区センター（稲川勤労青少年ホーム）

- 昭和58年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 勤労青少年ホーム機能は、利用実態に照らし、転用手続きについて関係機関と調整します。

集17 院内地区センター

- 歴史的建造物として、建物の安全性等を調査したうえで、補修方法や有効活用方法、管理運営手法について検討を行い、あわせて、地区センターとしての活用のあり方を検討します。
- 歴史・生活文化資料の展示機能については、市内に点在する他の資料を集約化し、市民全員が閲覧できるような保存・活用のあり方について検討します。

集18 秋ノ宮地区センター

- 平成3年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

集19 横堀交流センター

- 昭和55年に旧耐震基準で建設したものの、耐震基準を満たしていることから、必要な修繕を行い継続使用し、改修が必要になる時期を見据え、施設のあり方を検討します。
- 施設の一部1,839㎡の活用となっていることから、旧横堀小学校全体の有効活用を検討します。

集20 小野地区センター

- 昭和60年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

集21 湯沢コミュニティセンター

- 併設する児童クラブとの共用を図りながら、地域の自主的な活動の拠点として、機能を継続します。
- 昭和58年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 湯沢南児童クラブが併設されていることから施設全体の管理運営のあり方について、所管の変更も含めて検討します。

【年度別スケジュール】

施設名	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 ~ 2030年度 (R7) (R12)
地区センター 【共通事項】	→ 地域経営の仕組みづくり 指定管理者制度への移行の検討		-----→ 検討結果に基づき、順次、新体制に移行			
	→ 受益者負担の適正化の検討		-----→ 検討結果に基づく対応			
三関地区センター ふるさとふれあいセンター 岩崎コミュニティセンター 幡野地区センター 高松地区センター 稲庭地区センター 秋ノ宮地区センター 小野地区センター 湯沢コミュニティセンター	→ 予防保全計画の策定		-----→ 計画に基づく対応			
山田地区センター 弁天地区センター 須川地区センター	→ 耐震補強を含む改修か、 建替等の検討		-----→ 検討結果に基づく対応			
農家高齢者創作館	→ 弁天地区センターへ機能移転、 陶芸機能の検討		-----→ 検討結果に基づく対応			
ふるさとふれあいセンター	↑ 機能統合、一括管理へ移行 →					
岩崎コミュニティセンター	└					

施設名	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 ~ 2030年度 (R7) (R12)
弁天地区センター (農村交流センター) 幡野地区センター (湯沢農村環境改善センター) 稲庭地区センター (稲川勤労青少年ホーム)	→		-----→	協議結果に基づく対応		
高松地区センター (郷土学習資料展示施設)	→		-----→	見直し結果に基づく対応		
院内地区センター	→		-----→	調査結果に基づく対応		
横堀交流センター			必要な修繕を行い継続使用			→
						建替時期の検討
	→		-----→	有効活用の検討	検討結果に基づく対応	
湯沢コミュニティセンター	→	-----→	-----→	管理運営方法の検討	検討結果に基づく対応	

エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	今後の 方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）						維持管理費	
				現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較	
		建物	長寿 命化	大規模改修	建替	合計	長寿命化等 大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
集7	山田地区センター	検討	●	250,660	401,056	651,716	375,990	401,056	777,046	10,579	10,579
集8	三関地区センター	継続	●	313,425	501,480	814,905	470,138	0	470,138	11,593	11,593
集9	弁天地区センター (農村交流センター)	検討	●	228,400	365,440	593,840	342,600	0	342,600	8,693	8,693
集10	農家高齢者創作館	廃止		61,115	97,784	158,899	0	0	0	330	0
集11	ふるさとふれあいセンター	継続	●	171,315	0	171,315	256,973	0	256,973	9,962	9,962
集12	岩崎コミュニティセンター	継続	●	301,950	483,120	785,070	452,925	0	452,925	506	506
集13	幡野地区センター (湯沢農村環境改善センター)	継続	●	294,313	470,900	765,213	441,469	0	441,469	9,440	9,440
集14	須川地区センター	検討	●	215,328	344,524	559,852	322,991	344,524	667,515	8,279	8,279
集15	高松地区センター (郷土学習資料展示施設)	継続	●	756,995	0	756,995	1,135,493	0	1,135,493	10,977	10,977
集16	稲庭地区センター (稲川勤労青少年ホーム)	継続	●	192,873	308,596	501,469	289,309	0	289,309	5,899	5,899
集17	院内地区センター	検討		0	0	0	0	0	0	3,088	3,088
集18	秋ノ宮地区センター	継続	●	107,265	171,624	278,889	160,898	0	160,898	3,124	3,124
集19	横堀交流センター	継続	●	1,109,000	1,774,400	2,883,400	0	1,774,400	1,774,400	6,887	6,887
集20	小野地区センター	継続	●	228,230	365,168	593,398	342,345	0	342,345	4,255	4,255
集21	湯沢コミュニティセンター	継続	●	121,448	194,316	315,764	182,171	0	182,171	5,252	5,252
概算事業費（合計）				4,352,315	5,478,408	① 9,830,723	4,773,300	2,519,980	② 7,293,280	③ 98,864	④ 98,534

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
△ 2,537,443 千円	△ 330 千円

※ 更新費用は、本計画策定年度の令和2年度から起算して40年間に必要となる大規模改修費用及び建替費用の試算額です。

大規模改修費用：25万円/m²、更新（建替）費用：40万円/m²（総務省が提供する単価）

※ 維持管理費は、直近（平成30年度）の施設維持管理に係る年間の支出額です。

※ 端数処理の関係上、合計と一致しない場合があります。

※ 歴史的建造物は更新費用の比較は行わず、維持管理費のみとします。